

平成 29 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

総 務 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
【一般質問】 (吉岡文子議員) ○地方創生事業について ・本市の基幹産業である農業施策での地方創生関連交付金の活用について伺う。	農業施策での地方創生関連交付金を活用実績はないものの、当交付金を含めた有利な財源確保に努めながら農業施策に取り組む。	経済部と連携を図り、今後の地方創生関連交付金に注視・検討し、有利な財源確保に努めながら、農業施策に取り組む。
(山崎一広議員) ○市政執行方針について ・喫緊の行政課題である「市役所の耐震化」に関して、庁内の連携体制の考え方と、今後の具体的な取り組み方針について伺う。	市庁舎は防災拠点なる施設であり、耐震化は必要不可欠なものと考え、最重要課題と認識している。 建て替えに多くの経費が要することから、有効な財源の確保と併せ、将来の財政状況や公共施設全体の配置計画などを踏まえ、これまで以上に庁内関係する部署が共通認識のもと連携を図りながら検討を行う。	庁舎建替えの検討にあたり、庁内検討委員会を設置し、公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、検討を進める。
【予算審査特別委員会】 (松山教宗議員) ○通勤費助成について ・今後、札幌市以外への通勤費助成や通学費助成、現在、住んでいる方への助成制度の拡充について伺う。	効果測定を行いながら、通勤費助成制度の見直し検討作業を行う。	平成 30 年度予算編成時までに、美唄市移住・定住推進協議会と制度の見直しの要否に関して、検討を行う。

○多目的宿泊施設トマーレびばいについて ・市内経済の活性化への波状効果とつなげるため、商業者との連携が必要ではないか。 (山崎一広議員) ○多目的宿泊施設トマーレびばいについて ・昭和通から当施設へ出入りできる道路を都市整備課と連携を図り、整備してはどうか。 ○庁内連携について ・施策の推進にあたり、庁内連携が図られていないと考えるが、行政課題の解決に向けた、庁内の連携体制の推進が必要ではないか。 (吉岡文子議員) ○通勤費助成について ・助成対象を札幌だけにするのは、不公平ではないか。 ○職員住宅について ・老朽化が進み、以前から空室の状況である。今後の考え方は。 (川上美樹議員) ○庁舎の耐震化について ・国において公共施設等の適正管理を積極的に推進する内容が拡充される。すぐにでも検討に入ってはどうか。	商工会議所などの関係団体等と検討を進める。 関係部署とも連携を図り、検討する。 経営会議や朝会議、課長職会議などを通じ、共通の認識や理解を図り、庁内における全体調整を総合戦略室が担う。 美唄市移住・定住促進協議会と効果検証を行い、検討する。 予算の範囲内での小修繕には対応可能だが、大規模な改修、修繕等は難しいものと考えている。今後は、解体も検討する必要があると考えている。 庁舎の建替えには、多くの経費がかかることから、有効な財源確保と併せて、将来の財政状況や公共施設全体の配置計画などを踏まえ、庁内で検討する。	早期に商工会議所や経済部と「トマーレびばい」と市内経済の活性化への波状効果を協議する。 雪解け後、現地を確認し、都市整備課と協議・検討を行う。 各部署間の連携を図るため、平成 29 年度の経営会議より、部内会議の開催状況などを報告していく。 平成 30 年度予算編成時までに、美唄市移住・定住推進協議会と制度の見直しの要否に関して、検討を行う。 公共施設等総合管理計画との整合性を図るため、現在入居している職員の状況などを勘案しながら、解体を視野に入れ、検討を進める。 庁舎建替えの検討にあたり、庁内検討委員会を設置し、公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、検討を進める。
---	---	--

平成 29 年第 1 回 市議会定例会における主な課題と対応

市 民 部

NO. 1

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
【予算特別委員会】 (吉岡建二郎委員) ○乳幼児・子供医療費への助成 ・乳幼児医療費助成について昨年度と予算がほぼ変わらないが、今までの議論として、助成の拡大を進めていく前向きな検討はなかったのか。	・財政健全化企画は終了したものの本市の財政状況は依然厳しい状況の中にある。この件については今までの議会議論から、小学生までの医療費無料拡充として検討、予算要求したが、本年度においては拡充分について見送ることとしたところ。 (市民課)	・基本的に乳幼児医療費助成については国で行うべき事業と認識しているが、今後、国の動向を注視し、関係機関と協議しながら拡充等の検討を進めていく。
(吉岡文子委員) ○国保事業の広域化について ・国保事業の広域化については、平成 30 年 4 月から北海道が事業主体となり進めていくこととなるが、先の新聞報道によると 1 人あたりの国保保険税額が高くなる場所や低くなる場所があるとのこと。 美唄市はどうか。 また、一般会計繰出金による軽減策および収入水準における軽減策は継続されるか	・H28.11 に新聞報道がされた広域化後の美唄市国保税額の仮算定については、現在の保険税額より 10 数パーセント低くなると試算された。1 人あたりでは△12.2% (126, 273 円→110, 927 円)、モデルケース (夫婦所得 200 万円) では、△14.3% (429, 100 円→367, 600 円) である。 市の比較では、空知では高い順で 10 市中 6 番目に、全道では 35 市中 22 番目の順位となる。 また、一般会計からの繰出しについては、北海道としてそれを否定するものではない。従前からある所得水準による軽減策は継続する予定。 (市民課)	・平成 29 年 11 月に最終的な国保保険税額が試算されることから、国保運営協議会に諮問、答申をいただき、平成 30 年 1 定で議決を得るよう取り進める。

平成 29 年第 1 回 市議会定例会における主な課題と対応

市 民 部

NO. 2

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
(山崎一広委員) ○エコの丘までの道路整備について ・エコの丘までの道路整備について、寄付金をいただいている経緯もある。整備についてどう考えるか (山崎一広委員・川上美樹委員) ○墓地の参道等の整備補修について ・光珠内墓地の参道等の整備をしてほしいとの要望があるが、どのような状況なのか。	・最終処分場への道路である産化美唄線は毎日ごみ運搬車が通行する重要なアクセス道路。道路整備については、都市整備課において砂利を入れグレーダーでならしている。 ・光珠内墓地の整備については、平成 26 年度～平成 28 年度にかけて主に排水関係の緊急性の高い部分から整備を行ってきたが、平成 29 年度については参道整備にかかる予算措置はされていない。市民等から整備要望が上がってきている現状から今後、光珠内墓地を含めた市営墓地すべてにおいて調査し、整備年次計画を立て、計画に基づき整備を行っていきたい。 (生活環境課)	・市道整備については、担当部局から予算計上に向け取り組んでもらえるよう協議していく。 ・調査の実施及び整備計画を作成し、平成 30 年度以降から整備を実施したい。

平成 29 年第 1 回 市議会定例会における主な課題と対応

市 民 部

NO. 3

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
(谷村知重委員・山崎一広委員) ○生ごみ堆肥について ・生ゴミ堆肥の販売実績と利用促進のための今後の PR について・	・生ごみ堆肥の販売実績は、20 ㍲袋入りが 754 袋、バラ売りが 95 ㍲で計 55 トン販売しており、売上額は 345,600 円。 在庫数量は 16 トン、戻しは 170 トンある。 戻し堆肥は 4 月上旬から販売できるよう準備している。 販売促進 PR は、各農協へ再度チラシの配布をお願いするとともに、農家の会合や農事組合等に出向いて生産者に直接 PR する。 (生活環境課)	
(谷村知重委員・松山教宗委員) ○合葬墓について ・合葬墓の需要が高まってきており、道内自治体においても設置しているところや設置を決めたところなど、その検討が急速になっている。 美唄市の状況はどうか。 また、市民等に対するアンケート調査は行うのか。	・本市においても合葬墓の必要性が考えられることから、平成 28 年度、道内 4 カ所の自治体の合葬墓の状況を調査した。 また、関係団体と考えている美唄仏教連合に対し道内の状況を説明、意見を伺っているところ。 平成 29 年度には市民アンケート調査を行う。 (生活環境課)	・市民アンケートが終了し、市民ニーズが高いと結果が出た場合、設置に向けた方向性を検討する。

平成 29 年第 1 回 市議会定例会における主な課題と対応

市 民 部

NO. 4

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
(谷村知重委員) ○最終処分場の今後について ・最終処分場、エコの丘の残容量と延命について伺いたい。	・エコの丘への埋め立て量は、岩見沢の広域施設での焼却処分などで減少しており、現在の埋め立て量でいくと平成 34 年までは埋め立て可能と予想している。 (生活環境課)	・平成 35 年以降については、埋め立て地を新設、嵩上げ、民間施設への搬入など選択肢があることから、コスト面や建設にかかる準備期間等考慮し、平成 30 年度に方向性を出したい。

平成 29 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

保健福祉部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
【一般質問】 (森川明議員) ○引きこもりについて、関係機関と連携し実態把握に努めてほしい。 ○市においてもサポーター養成の研修を進めてほしい。	国の動向を注視し、関係団体と連携を図りながら検討する。 支援のあり方について、国・道から情報を収集し、有効的な施策の推進に向けて、調査研究に努める。	国は、調査項目を集約し調査を進めるとしていることから、今後国の方針を基に対応する。 北海道精神保健推進協会がこのほど始めたサポーター養成のネット研修の動向について、5月末を目途に調査するなど、その検証を行う。
【地域医療体制等調査特別委員会】 (松山教宗委員) ○市民説明会等、市民の意見を聴く場を持っていただきたい。 (吉岡文子委員) ○保健福祉総合施設を併設する理由が市民に伝わっていない。具体的な説明をお願いしたい。	双方向で議論できる場として、出前講座など考えてまいりたい。	・構想・計画策定のお知らせを市ホームページ、メロディー5月号に掲載予定。合わせて出前講座等について周知をする。 ・まちづくり地区懇談会等において意見交換を行う。 ・基本設計がまとまった段階で説明会を開催する。

平成 29 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

経 済 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応 スケジュール
【一般質問】 (松山教宗議員) DMO構築に向けた取り組みの課題と今後のスケジュールについて 観光ビジョンについて、どのように策定し、DMOの位置づけはどのようなのか。 美唄市地域経済円卓会議の今後の開催はどのようなのか。	DMO構築に向けては、関係団体や関係企業、市民の皆さんも含めた合意形成が必要であることから、相互理解を深めていく中で、今後のスケジュールを検討する。 観光の専門知識を有する方を招聘し、市民参加のもと、将来にわたって発展していくための指針になるよう策定し、DMO組織の役割について、観光物産協会や関係する団体、企業、市民の意見を伺い、ビジョンの位置付けを検討する。 美唄経済戦略会議の提言が、まとまり次第開催する。今後は、必要に応じて開催する。	3月24日、びばい「観光地域づくり」フォーラムを開催。参加者80名参加 今後の、策定の作業の中で、検討する。 経済戦略会議について、3月29日に開催するので、まとまり次第開催(4月予定)
【一般質問】 (桜井龍雄議員) ふるさと納税返礼品などでもっと農産物を提供できるよう農協との連携を深め、定期的な意見交換や情報交換をするべきと考えるが。	現在の取り組みを継続するとともに、販路拡大について農協などと定期的な情報交換を検討していく。	今後、定期的に、情報交換を行う。
【一般質問】 (金子義彦議員) 中心市街地の振興について、H29年度はどのように取り組むのか、また後継者対策の対策について	これまでの取り組みを継続するとともに、市と商工会議所に相談窓口を設置し、新規創業者をサポートしていく。また、後継者への対策については、他市町村の状況など調査の上、商工会議所の意見を伺い検討する。	今後、他市町村の状況を調査し、検討する。

質問要旨	答弁要旨	具体的対応 スケジュール
【一般質問】 (川上美樹議員) 空き店舗、空きスペースの利用促進について、中小企業等振興条例における開業、新分野への進出する事業について、支援を受ける条件を緩和すべきではないか。	利用促進を図るため、商工会議所と連携し、空き店舗などの活用のあり方や支援策について検討するとともに、中小企業等振興条例等の見直しをする。	年内に見直しする。
【一般質問】 (吉岡文子議員) 商店が減少し、後継者がいない状況の中、店舗リフォームなどへの支援や今後の対策について伺う。	中小企業等振興条例等の見直しの中で、バリアフリー化などのリフォームに対する支援を検討する。後継者対策については、商店街の声を聴きながら、商工会議所と連携しながら検討する。	年内に見直しする。

平成29年第1回市議会定例会における主な課題と対応

経 済 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
【一般質問】 (桜井龍雄議員) 国営事業で整備した基幹排水施設の改修に向け、国に対する要請が必要。このため、早期に期成会設立をすべきと考える。 過去の議会で、関係団体と連携を図るなどの答弁をもらっているが、その連携等の進捗状況を伺う。	今年1月に市内3農協、改良区に内諾を得た。今後は、関係連合会に構成員となるよう要請、参加の上で期成会を設立し、国に対して早期事業化を要望してまいりたいと考えている。	H29年3月 市内連合会会長協議会で情報提供済み H29年4月 関係連合会より構成員推薦を集約 H29年6月～7月 3農協、改良区に構成員参加要請 連合会構成員に参加要請 H29年8月 「美唄市国営かんがい排水事業（空知中部地区）促進期成会」準備会を開催し、期成会を設立。

平成 29 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

都 市 整 備 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
【一般質問】 (本郷幸治議員) 安定的な水の供給を確保するための現状と将来の見通しについて。	平成 8 年度より地震に強い耐震管を布設するとともに、有収率向上に向けて漏水調査や老朽管の改良などを行ったことにより平成 25 年度からの 4 年間で 7.2%の有収率が向上していることから引き続き同様の取り組みを行う。	平成 25 年度に策定したアセットマネジメントの計画に基づき管路の更新を行っていく。
【予算審査特別委員会】 (吉岡健二郎議員) コンパクトシティ構想策定にむけた市民参加の方法について	平成 29 年年度に一般公募によるワーキング会議を開催し、多くの市民意見をコンパクトシティ構想の中に反映していく。	平成 29 年度中に、コンパクトシティ構想の成案を策定し市民に公表する。

平成 29 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

教育委員会

	質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
1	サイクリング普及の考え方を伺う。 (一般質問：松山議員)	子ども向けサイクリング教室の開催、年齢や技術を問わずに参加できるサイクリングイベントの開催について検討する。	○子どもサイクリング教室 H29 市民サイクリングにおいて実施 ○サイクリングイベント ・サイクリング団体等と協議 ・財源の調査研究
2	学校司書配置の考え方を伺う。 (一般質問：吉岡建議員)	学校図書館法の改正により、学校司書の配置が努力義務化されたことを踏まえ、配置に向けて検討する。	○まち・ひと・しごと創生総合戦略に登載済み ・国の交付金活用など調査研究
3	学校適正配置の必要性和今後の取組みについて伺う。 (一般質問：吉岡建議員、金子議員)	今後も少子化が進行することが予想されるため、将来的に良好な教育環境を維持していく方策を検討すべき時期。 H29 に一定の方向性を取りまとめ、これをもとに、合意形成に向け、保護者・地域との意見交換を進めていきたい。 なによりも、合意形成が前提であり、多くの市民の意見を聴きたい。	○今後の方向性 アクティブラーニングの取組みなど、今後、必要とされる教育環境に関する考え方を総合教育会議での協議を経て、取りまとめる。 ○意見交換 小学校区ごとに市全体の現状と将来の児童生徒数の見通しなどを説明し、共通認識に立てるようにする。 意見交換は、事前に結論を提示するのではなく、共通認識に立った上で意見を出し合い、合意形成に至るよう進める。
4	市民会館大ホールの浸水被害の原因調査をすべき。 (予特：山崎委員)	原因について調査、確認する。	○発生原因の調査 ・指定管理者とともに確認
5	就学支援追加 3 項目実施の考え方を伺う。 (予特：吉岡文委員)	優先順位を考え、引き続き、実施に向け努力する。	○道内市町村での実施状況調査。 ○H30 予算編成に向け内部協議。
6	尚栄高校の定員確保のため、支援内容を充実すべき。 (予特：吉岡文委員)	高校、市長部局と協議する。	○高校の意向確認 ○市長部局との協議